

■ どくそう 独創の近代日本画家

平福 百穂

ひらふく ひやくすい

出身地 仙北市（旧角館町）

1877年（明治10年）～1933年（昭和8年）

西洋画の写実研究の上に、中国や日本の古典を学

び、清新で多様な作風を生み出した。代表作は「荒

いそ磯」「七面鳥」ほうねんしょうにん「法然上人」など。秋田蘭画の先

駆的研究者。アララギ派の歌人としても知られ、歌

集に『寒竹』かんちくがある。



年譜

- 1877年 仙北市（旧角館町）かくのだてに生まれる。本名・貞蔵。ていぞう
- 1899年 東京美術学校卒業。
- 1903年 第5回内国勸業博覧会かんぎょうはくらんかいに「獵夫」りょうふを出品、褒状。ほうじょう
- 1917年 第11回文展ぶんてんに「豫讓」よじょうを出品し特選。
- 1922年 第4回帝展ていてん審査員しんさいん。
- 1927年 自選歌集『寒竹』かんちくを出版。
- 1929年 帝国美術学校教授。『日本洋画曙光』しよこうを出版。ていこく
- 1930年 帝国美術院会員。
- 1932年 東京美術学校教授。
- 1933年 横手市ほつで没。55歳。さい